

## 予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

### 事業名【新】県立障がい福祉施設再整備基本計画策定事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内3494)

E-mail： c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 33,257 千円 (前年度予算額： 0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	33,257	0	0	0	0	0	0	0	33,257
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

県立の障がい福祉施設については、現在 7 施設あり、うち 4 施設で築40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。また、利用者の重度化と高齢化が進み、設計(4人部屋など)が古いことから、これらに対応することが困難になってきている。

このため、県立の障がい福祉施設について、再整備を進めていく必要がある。

### (2) 事業内容

今年度は、県立障がい福祉施設の再整備に向けて、県立障がい福祉施設として果たすべき役割や機能、今後の方向性を検討するため、「県立障がい福祉施設の再整備のあり方検討会」を開催しており、本検討会の議論を踏まえ、報告書をまとめる予定である。

来年度は、本報告書を踏まえ、5施設(みどり荘、陽光園、三光園、幸報苑、ひまわりの丘第一学園)の再整備に向け、再整備の基本計画の策定が必要であるため、外部委託を実施する。

基本計画では、整備方針(建築物の機能・構造、敷地、工程、費用)をとりまとめ、基本・実施設計に進めていく。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	378	基本計画策定検討構成員謝金
旅費	363	基本計画策定検討構成員費用弁償、業務旅費
消耗品費	50	資料作成、事務用消耗品
会議費	6	お茶代
役務費	10	郵送代、電話代等
工事委託料	32,450	基本計画の業務委託
合計	33,257	

決定額の考え方

--

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年度中に5施設（みどり荘、陽光園、三光園、幸報苑、ひまわりの丘第一学園）の再整備に向け、基本計画を策定する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

基本計画を策定させるものであり、指標設定できるものではない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	
令和6年度	
指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %	

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)  
3

県立の障がい福祉施設のうち4施設で築40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。また、利用者の重度化と高齢化が進み、設計(4人部屋など)が古いことから、これらに対応することが困難になってきている。

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

### (次年度の方角性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課  
組み合わせる理由  
や期待する効果 など

【〇〇課】